

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況

No.12 令和元年9月～令和元年10月

胆江地区衛生センター

■ 引渡し部分の出来高中間検査を実施しました。

本年9月1日で2号炉及び発電設備の完成引渡しを受けたことから、年度末の出来高検査（工事がどれくらい進んだかを確定するための検査）に先立ち、引渡しを受けた部分について中間出来高検査を実施しました。

検査では、組合検査員、施工監理業者が書類検査・実地検査によって施工状況を確認し、修正が必要な箇所については、施工業者により順次修正がなされました。



左：現場の施工状況を確認する様子 右：標記等に誤りがないか書類検査をおこなう様子

■ クレーンによる1号焼却炉の解体準備を開始しました。

1号焼却炉を解体するため、8月24日(土)より120tクローラークレーンが搬入されました。

古くなった焼却設備は、施設の天井に穴を開け、そこからクレーンを使って搬出されます。9月から10月にかけて天井の開口作業や仮設屋根の設置作業等がおこなわれ、解体に向けた準備が進められました。

今後の1号焼却炉の工事予定は下記のとおりです。

11月～R2.1月	機器解体・撤去作業
2月～6月	各焼却設備更新、ボイラ据付作業
7月～9月	築炉作業
10月～11月	静調整、試運転調整



仮設屋根の搬入作業を行う様子